



2023 年 9 月 18 日

(IMDS モデルオフィス Next での公開は 2023 年 10 月 18 日、本番での公開は 2023 年 11 月 15 日です。)

IMDS Release 14.2 情報

(重要：以下の機能拡張は、**Advanced Interface(AI)**フォーマットのアップデートは必要ありません。)

機能的な変更

1. 公開データシートを検索する際の新しい検索パラメータ “有効なデータシート(valid MDSs)”

リリース 14 以降、10 年以上前のデータシートが警告やエラーを表示するようになりました。多くのユーザーが 10 年以上前のデータシートを使用してデータシートを作成しており、データシートが完成しリリースされる際にエラーが発生します。そこで、公開データシートを検索する際に、有効なデータシートのみを検索する新しい検索パラメータが導入されます。このパラメータはデフォルトで設定されます。有効なデータシートを条件にして検索した場合、標準(コミッティ)企業が公開したデータシート、10 年以上経過していないデータシート、または「まだ有効」とマークされた材料のみが検索されます。

IMDS-AI への影響 – なし

チェックの変更

2. 材料分類 7.2 における金の高濃度含有を許可する

2023 年の初めには、“Chk : Classification 1-4 w/o silver”が導入され、材料分類 7.2 において 80%以上の銀を含むガラスを許容するようになりました。リリース 14.2 では、このグループは “Chk : Classification 1-4 w/o silver, gold”と改名され、金はこのグループから除外されます。これにより、材料分類 7.2 で 80%以上の金を含むガラスを、警告が出ることなく作成することも可能になります。名称の変更とグループから金が削除されますが、他の変更は行われません。

IMDS-AI への影響 – なし



International Material Data System

3. フィラー(充填材)を含有する熱可塑性樹脂のチェックにおいて “Filler (dual use)” の化学物質を含むリリース 14.0 以前の材料を無視する

IMDS リリース 14.0 では、材料分類 5.1.a –フィラー(充填材)を含有する熱可塑性樹脂の充填材が 5%以上であることを確認する新しいチェックが導入されました。フィラーとして使用される化学物質と他の用途に使用される化学物質があるため、“Filler (dual use)”という化学物質グループが追加されました。このリストに含まれる化学物質は、材料分類 5.1.a のフィラーとして使用されるかどうかをマークする必要があります。マークがない場合、警告が表示される可能性があります。リリース 14.0 以前の材料にはこのような情報がないため、これらのデータシートは警告を発し始め、サプライチェーン内での多くの拒否につながりました。IMDS リリース 14.2 では、リリース 14.0 以前の材料において “Filler (dual use)” のリストに含まれる化学物質が充填剤として使用されていると仮定するようにチェックが修正され、警告を大幅に減らします。

IMDS-AI への影響 – なし